

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
専門演習Ⅳでは、地域の諸課題をビジネスを通じて、様々な人々と協働し、地域社会の活性化・発展に貢献できる能力を獲得することを目標とする。4年後期にはこれまでの学習成果を卒業レポートとして完成させます。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身に付ける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに目的と内容、進め方を説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	卒業レポートのテーマ (1)	卒業レポートに関する文献、資料、データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第3回	卒業レポートのテーマ (2)	卒業レポートに関する文献、資料、データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第4回	卒業レポートのテーマ (3)	卒業レポートに関する文献、資料、データを収集し、テーマを設定する。	<input type="checkbox"/>
第5回	中間報告・ディスカッション	テーマ設定・構成案を全員報告し、全員で検討する。	<input type="checkbox"/>
第6回	卒業レポートの作成 (1)	卒業レポートを作成し、内容を逐次改善する。	<input type="checkbox"/>
第7回	卒業レポートの作成 (2)	卒業レポートを作成し、内容を逐次改善する。	<input type="checkbox"/>
第8回	卒業レポートの作成 (3)	卒業レポートを作成し、内容を逐次改善する。	<input type="checkbox"/>
第9回	中間報告・ディスカッション	卒業レポートの中間報告を行い、全員で進捗状況を把握する。	<input type="checkbox"/>
第10回	卒業レポートの推敲 (1)	卒業レポートの内容を繰り返し練って、内容をより良いものとする。	<input type="checkbox"/>
第11回	卒業レポートの推敲 (2)	卒業レポートの内容を繰り返し練って、内容をより良いものとする。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業レポートの推敲 (3)	卒業レポートの内容を繰り返し練って、内容をより良いものとする。	<input type="checkbox"/>
第13回	最終報告・ディスカッション	卒業レポート最終案を報告し、全員で検討する。	<input type="checkbox"/>
第14回	卒論発表	ゼミ交流会で卒業レポートを発表する。	<input type="checkbox"/>
第15回	ゼミ総括	卒業レポートを提出し、2年間のゼミ活動を総括する。	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)</b>	
授業前には課題図書やゼミ活動で必要となる新聞、雑誌、テレビ、ネットなどの情報を主体的に読破すること (2時間程度) また授業後には、授業内容をまとめてゼミ課題に積極的に取り組むこと (2時間程度)。日ごろから主体的にビジネス関連情報を収集するように心がけることが大切です。	

<b>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</b>	
各回の授業で取り組んだ内容また課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること、またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。	

<b>■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)</b>		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域の諸課題をビジネスを通じ、多様な人びとと協働し、地域とつながり地域社会の活性化・発展に貢献できる能力を身につける。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 平常の取組（60%）と課題提出（40%）を基礎に成績評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	<なし>	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	<なし>参考図書・資料は演習時に指示します。	
2		
3		
4		
5		